

きみがこんなに
カッコ良くなるなんて
聞いてない!



大俱利伽羅 × 鶴丸国永

Presented by no100k

R18

KIMIGA KONNNANI
KAKKOYOKUNARUNANTE
KIITENAI!!

君が伊達の守り刀
大俱利伽羅か
仲良くしよう
じゃなるか

嗚呼
退屈だ退屈だ
心が死んでいく

どうせなら
長くはしまじ

この黒龍には
それまで精々
暇潰しになって
貰おうか



嗚呼
退屈だ退屈だ
心が死んでいく

どうも
長く

知らん

この黒龍には
それまで精々
暇潰しになって
貰おうか


あれ？
.....
.....
.....
.....



※色々捏造してます

奥州伊達の地で過ごした頃は

大俱利伽羅は磨り上げの影響で子どもの姿だった設定です
シヨタおに風味だけどエッチなことは大人の姿になってから



それは
退屈凌ぎの
気まぐれだった

君が伊達の
守り刀か

嗚呼
退屈だ退屈だ
心が死んでいく



長い髪を束ねて
おどろかす

大便利伽羅

この黒龍には
それまで精々
暇潰しになって
貰おうか



……お前からは
血と膿の
匂いがする

伊達家に
何用だ

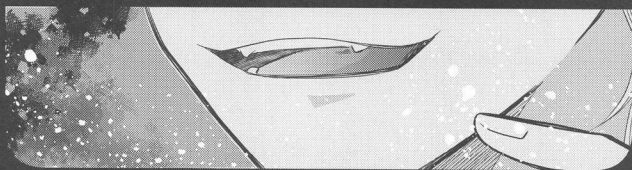


そのころの俺は
全てに飽いていた

……仲良くしよう
じゃないか

真っ直ぐな
若い刀だ
磨り上げられたか

意志の強い眼差し
人間を愛する心



嗚呼何て
愚かな



いやいやいや
それはこちらの
科白なんだがっ

顕現を乞われて一日目、
本丸案内の最中に
引っ張り込まれたと
思ったらなんだきみはっ



ここが居間でー
居住区には
個室があつてー



…俺が
わからないのか

伽羅坊だろうっ
気配でわかるさ

顕現初日だろうと
君以外だったら
こんな真似許すものか







お前は
詰めが甘いからな



何がだよ
伽羅坊

そんなことより
見ろよ池の鯉が
陸に上がりそうに

そういう
ところだ

大体お前最初に
伊達家に来た時には
ここを呪い尽くそう
ぐらいに思っ
ていただろう



……え？
EMETHA
いやまあ
なんと言うか

誤魔化そうと
しなくて良い

俺のことも
暇潰しの
玩具ぐらいに
思っていたんじや
ないのか

いっ



なんでって



なんだ

そっそれは
違うぞ伽羅坊
確かに最初の最初は
そうだったかも
しれんがっつ

だからそういう
ところだ
何故そう簡単に
思考を変えた



いつの間にか
俺はすっかり
退屈も忘れて
居心地の良さに
ハマっちまった

全てに
倦んでいたのは
本当だ

しかしこの黒き竜が
あまりに誠美で
優しいものだから



お前本当
覚えているよ



?
勿論君のことを
忘れるはずがない
だろう



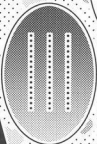
伽羅坊は
伊達男だ

! ?
.....



よし、
手合わせでも
するかっ

俺を驚かすことが
出来たら
イイコト♡して
やろう



その後
しばらくして

俺は伊達家を離れ
尊い方のもとへ
連れていかれた



※別に小さかった時に
啜えたことがあるわけではない



わかるかつ
平安生まれでも
こんなこと
初めてだぞっ

勢いでやり始めたが
なんとかな……って
いる、のか？



な、なんだ
やっぱりヘタクソ
だったか？

未経験なりに
伽羅坊の伽羅棒を
可愛がれた
つもりだったんだが



そうじゃない

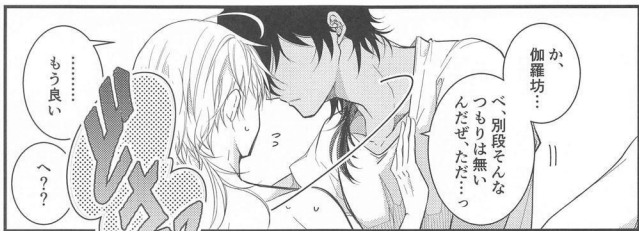


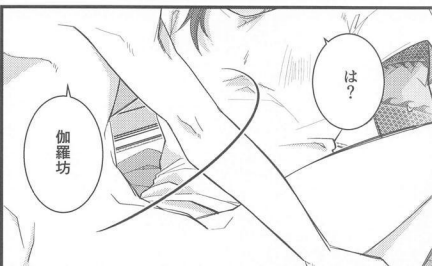
もういいっ


おっ




：アンタはいつまで
俺を可愛い年下の坊
扱いする気だ







来いよ
受け止めてやるぜ



その時は
随分と厄介な刀が
来たと思っただ



見ろよ伽羅坊
鯉が集まって
きてる



鶴丸国永という刀は
当初の印象どおり
とんでもない男だった



老獯な
神の面と


純粋な童の面を
両立させる



最近餌が少なくて
そいつらも飢えている
指をもって行かない
よう気を付けろよ

全身に呪いを巻き
しかし軽やかに
自由を愛する


ははっ刀が
鯉に指を食われるか
驚きだねえ



そんなものに
心を奪われたら
どうなるか

本当に厄介な
奴だな

げん




俺がここに
来たばかりの頃は
まだ小さな鯉も
いたのだがなあ

魚というのは
成長が早いものだ




伽羅坊と
一緒だな



知ってるかい？

鯉というのは
成長して
龍になるとい
う逸話もあるらしい



鋼の身なれど
この身体がもし
コイツと並ぶほどに
なれたら



……言っている

その時は
もう待たない

聞いてないとも
予想していなかったと
言われても



何がだよ
伽羅坊

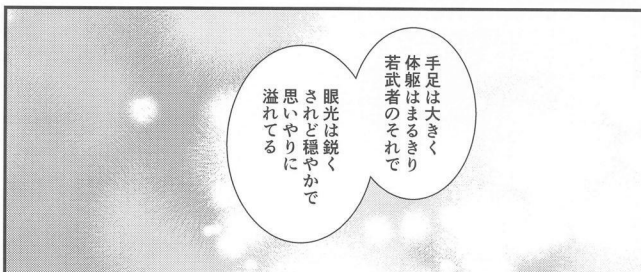
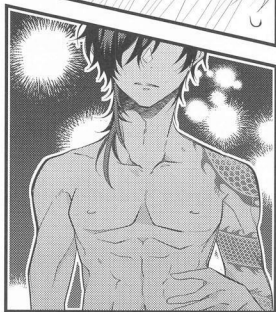



……お前は
詰めが
甘いからな












随分良い男に
なったもんだ

だが変わらず
昔のままなところも
あるんだな



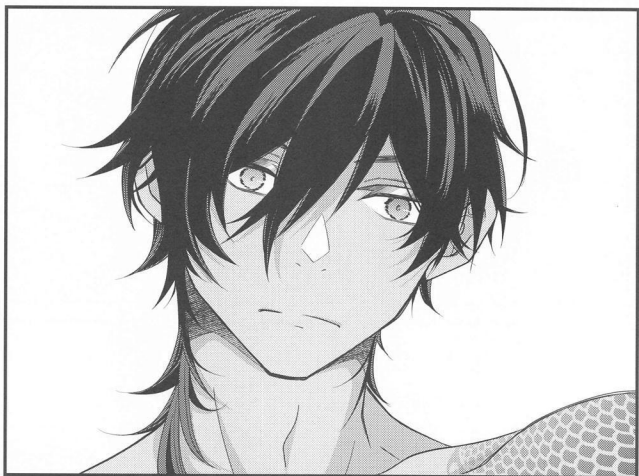
いや違うと言うか
変わらぬのは
俺の方というか

…ここまでしても
やはり童のままと
言いたいのか

は？
違う違う

?









ここまでお付き合いくださいませありがとうございます！
くりつるはシヨタおにから始まるのが美味しい

最初は暇潰し代わりに構っていたのが、
段々大俱利伽羅の優しさとか強さとか深さに惹かれてって
「伽羅坊~~~~大好きだ~~~~っ！」になる鶴丸国永が大好きなんです、
さらにそこに魔女集会的に大人になったシヨタに押されてタジタジになってくれ~~~~
という欲望を詰めてこの本が出来上がりました。
描いてて最高楽しかったです！



きみがこんなに
カッコ良くなるなんて
聞いてない！

2023/10/15
一郎@脳内百景
太陽出版様

<https://www.pixiv.net/users/998753>
no100k1low@gmail.com

無断転載、複製複写、オークションへの出品を禁じます



Touken-Ranbu Unofficial Fanbook

きみがこんなに
カッコ良く

I never heard of you being so cool!

なるなんて
聞いてない!

Presented by no100k